# 工学部長記者懇談会（2 月）

日時：2 月 8 日（木）　10：30～12：00　100 周年記念会館

【発表事項】

（1）10：30～10：50　資料1

地域と学生をつなぐバスツアー

～米沢市学園都市推進協議会のイベントで発表・懇談～

発表者：学術研究院　教授　落合　文吾（化学・バイオ工学）

システム創成工学科3年　渡部　涼太（わたなべ　りょうた）

化学・バイオ工学科3年　今野　理香（こんの　りか）

（2）10：50～11：10　資料2

nano tech 2024 展にて、山形大学有機エレクトロニクス

イノベーションセンターが『米国化学会賞』を受賞

発表者：学術研究院　教授　佐野　健志（INOEL センター長）

（3）11：10～11：30　資料3

「国際宇宙産業展 ISIEX」にて球状歯車を展示

～金属製の球状歯車を用いたロボットアームの展示～

発表者：学術研究院　教授　多田隈　理一郎（ロボット工学）

（4）11：30～11：50　資料4

もの・まちづくりサークル縁

～令和5年度の活動について～

発表者：建築・デザイン学科2年　白石　匠（しらいし　たくみ）

【通知事項】

（5）11：50～　資料5

令和5年度山形大学学位記授与式（米沢地区）について

～今年度より山形大学純米大吟醸 燦樹などのアルコール販売も行います！～

【次回開催予定】

3月7日（木）　10：30～12：00（100周年記念会館）

配布先：工学部長記者懇談会参加報道機関

# PRESS RELEASE

山形大学 Yamagata University　米沢市

令和6年（2024年）2月8日

# 地域と学生をつなぐバスツアー

## ～米沢市学園都市推進協議会のイベントで発表・懇談～

**【本件のポイント】**

●5月に実施し、内閣府のコンテストで複数の賞を受賞した大学生と地域のイノベーターをつなぐバスツアー「米沢オモシロ調査隊」の取り組み（12月記者懇発表）を2/13の「学園都市講演会」で報告

●山形大学工学部では、米沢市の補助を受け、地域のイノベーションを起こす人材育成に取り組んでいる。その一環として、山形大学、米沢市、大日本印刷株式会社サービスデザイン・ラボ（SDL）と連携して行った集中講義「サービスデザインによる社会課題解決」で生まれたアイデアを元に具現化したバスツアー

●講演会・懇談会には、山形大学の学生・教員とSDLのメンバーが参加

**【概要】**

5 月に米沢市（学園都市推進協議会）が主催した大学生と地域のイノベーターをつなぐバスツアー「米沢オモシロ調査隊」が、「大学在学中に“米沢市”に愛着を持ち、卒業後もゆかりを持つようになるには？＝頼れる地域イノベーターとの出会いを創出するバスツアー施策＝」と題して、内閣府地方創生推進室主催の「地方創生☆政策アイデアコンテスト 2023」にて、東北経産局局長賞を受賞するとともに、東北地方代表として 12/9 の最終審査会に進み、大学生以上・一般の部の優秀賞と企業賞 1 件を受賞した。この取り組みを、2 月 13 日に米沢市にて行われる【地域課題における学生・大学の力】をテーマとしたトークセッションである学園都市講演会で報告するとともに、メンバーがその後の「地域と大学との懇談会」にも参加する。
同バスツアーは、米沢に初めてきた大学生に米沢を知ってもらうことを目的に毎年行われてきたが、大学生達のアイデアを元に、従来の観光中心型から、今年度は人とのつながりを重視する内容へリデザインした。午前中は地域の人々とのつながりを作るツアー、午後は原方刺し子、お鷹ぽっぽ、紅花染、ひょうたんランプの体験及び職人・講師との交流を行った。来年度の実施に向け、計画を始めている。

**【背景】**

多くの大学生が県外、更には米沢市外の出身であり、卒業時には多くが県外、市外に転出する。そして、その後は米沢市との縁が切れてしまうケースも多い。卒業後に残る人を増やすとともに、転出したとしても米沢に縁を持ち続けられる関係人口を増やすことで、人口増加と活性化につながることが期待される。

**【成果】**

上記の背景を解決するべく、山形大学工学部の講義「サービスデザインによる社会課題解決」で、米沢市からのお題である「大学生が米沢市に愛着を持ち、卒業後も米沢市にゆかりをもちつづけるためのアイデア」を SDL の方々の指導のもとで、受講生たちが考えた。その一つが、地域とのゆかりを作るツアーであり、これを従来から行っていた新入生向けバスツアーのリデザインへとつなげることで、人とのつながりを作るツアーへと変えた。その企画・運営に複数の学生が関わり、参加者の満足度は 5 段階中平均 4.88 と非常に高かった。

この産学官連携での地域活性化の手法を、内閣府地方創生推進室主催の「地方創生☆政策アイデアコンテスト 2023」に応募した。本作品は、東北経産局局長賞を受賞するとともに、応募総数 1510 件の中の 18 件のファイナリスト（大学生以上一般の部・東北地方代表）として 12/9 の最終審査会に進み、大学生以上・一般の部の優秀賞と企業賞 1 件を受賞した。https://contest.resas-portal.go.jp/2023/prize.html

この成果を、米沢市の学園都市推進協議会が主催するトークセッションで発表し、その後の懇談会で今後を議論する。

https://gakuentoshi.info/news/579/

配布先：工学部長記者懇談会参加報道機関

**【今後の展望】**

学生と地域とのつながりが深まるとともに、米沢の新しい魅力の発見に繋がったという感想が多く得られ、学生が卒業後もゆかりをもちつづけられる種を作ることができた。来年度も６ないしは７月の実施に向けて、準備を始めている。

お問い合わせ
学術研究院教授　落合文吾（化学・バイオ工学分野担当）
TEL　0238-26-3092　　メール ochiai@yz.yamagata-u.ac.jp

配布先：工学部長記者懇談会参加報道機関

# PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和6年（2024年）2月8日

# nano tech 2024展にて、山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンターが『米国化学会賞』を受賞

**【本件のポイント】**

- nano tech展は、出展者数：370団体（2023年）、来場者数：4万2千人（2024年）を誇る、ナノテクノロジー分野では世界最大級の展示会。
- nano tech 2024展では、nano tech大賞の部門賞として「米国化学会賞」を今回新設。その初の受賞者として、山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター（INOEL）を選んだ。nano tech大賞/部門賞 計９賞のうち、大学の受賞は山形大学が唯一。
- INOELのナノテク展出展は3回目で受賞は今回初。産学連携や国際化に向けた活動が認められた形。今後オープンイノベーションの加速に結びつくことが期待される。

**【概要】**

2024 年 1 月 31 日～2 月 2 日に東京ビッグサイトにおいて開催された、nano tech 2024 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議（通称：ナノテク展）において、同展に出展していた山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター（INOEL）が、『nano tech 大賞 2024 米国化学会賞』を受賞した。米国化学会賞は今年新設された賞。INOEL が展示した世界最先端の有機材料・ナノテクノロジー・印刷技術が、サステナブル（持続可能な）エレクトロニクス実現に向けた取り組みとして評価された。また、大学と企業の若手が生き生きと活動し、国際化にもオープンで、次代を担う場になっていることも評価された。
今回の受賞は、山形大学が目指す持続可能な次世代技術の研究開発や、国内外の産業界へのアピール、さらなる海外連携の強化や、オープンイノベーションの加速などに結びつくものとして期待される。

**【受賞理由】**

山形大学　有機エレクトロニクスイノベーションセンターでは、世界最先端の有機材料・ナノテクノロジー・印刷技術を基盤に、サステイナブルエレクトロニクスの実現に向けて取り組んでいる。山形大学が長年培ってきた体系化された学術と産業界の優れた開発力を融合させることで次世代の IoT 社会に貢献するイノベーションを創出している。大学と企業の若手が生き生きと活動し、次代を担う場になっている点も優れているため、本賞に相応しいと判断した。

nano tech 展ホームページ上（https://www.nanotechexpo.jp/main/）における公開予定について：
2024 年 2 月末まで開催しているオンライン展示が終了次第、開催報告書等に掲載予定とのこと。

お問い合わせ
学術研究院教授　有機エレクトロニクスイノベーションセンター長
佐野　健志（有機デバイス、次世代太陽電池）
TEL　0238-29-0566　　メール takeshi.sano@yz.yamagata-u.ac.jp
INOEL 事務室　yu-kouinoel@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

配布先：工学部長記者懇談会参加報道機関

（**参考資料**）審査結果通知書、授賞式写真、INOEL 出展ブース外観など

International Nanotechnology Exhibition & Conference
nano tech 2024
国際ナノテクノロジー 総合展・技術会議

## nano tech 大賞 2024　審査結果

**山形大学　有機エレクトロニクスイノベーションセンター　様**

この度は、nano tech 2024 国際ナノテクノロジー総合展・技術会議 にご出展いただき、誠に有難うございます。nano tech 大賞審査会議の結果、貴社が受賞されましたのでご連絡申し上げます。

### 米国化学会賞

受賞理由：

世界最先端の有機材料・ナノテクノロジー・印刷技術を基盤に、サステイナブルエレクトロニクスの実現に向けて取り組んでいる。山形大学が長年培ってきた体系化された学術と産業界の優れた開発力を融合させることで次世代の IoT 社会に貢献するイノベーションを創出している。大学と企業の若手が生き生きと活動し、次代を担う場になっている点も優れているため、本賞に相応しいと判断した。

# nanotech 2024に出展/受賞

International Nanotechnology Exhibition & Conference
nano tech 2024
国際ナノテクノロジー 総合展・技術会議

- nanotech 2024展　米国化学会賞　受賞
  山形大学有機エレクトロニクスイノベーションセンター
  （2024.1.31-2.2 東京ビッグサイト）

Main Theater
International Nanotechnology Exhibition & Conference
nano tech 2024
国際ナノテクノロジー総合展・技術会議
nano tech
2024 Awards
nano tech
International Nanotechnology
Exhibition & Conference

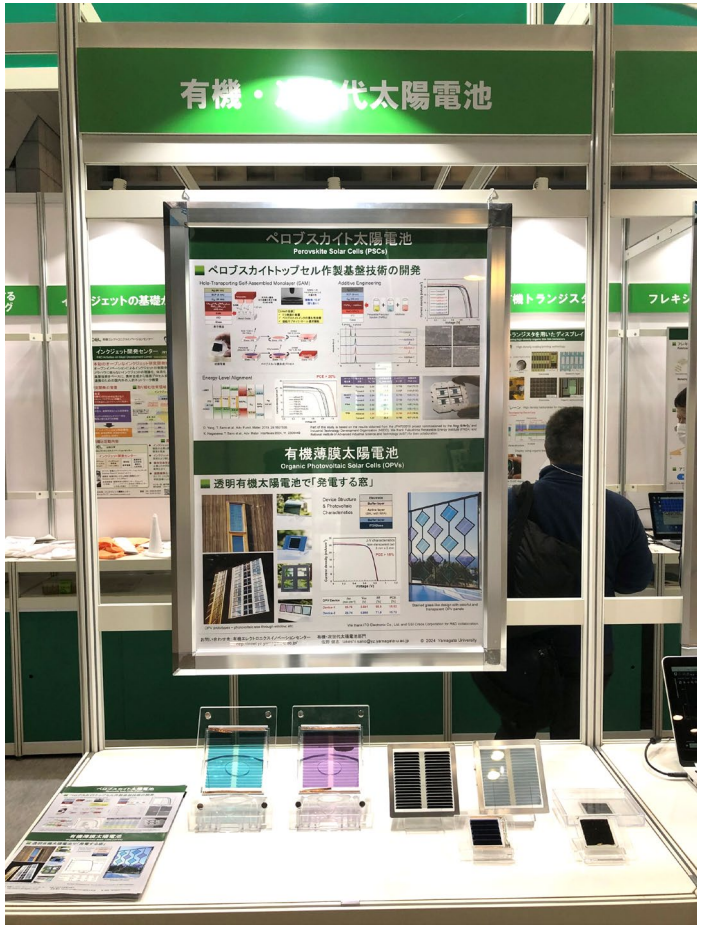
nano tech 2024 Awards
米国化学会賞
ACS Publications Award
山形大学
有機エレクトロニクスイノベーションセンター
Yamagata University Innovation Center for Organic Electronics
International Nanotechnology Exhibition & Conference
nano tech 2024
国際ナノテクノロジー総合展・技術会議

山形大学
クトロニクスイノベーションセン
University Innovation Center for Organic Electro
bition & Conference
2024
合展・技術会議

nano tech 2024 Awards
米国化学会賞
ACS Publications Award
山形大学
有機エレクトロニクスイノベーションセンター
Yamagata University Innovation Center for Organic Electronics
International Nanotechnology Exhibition & Conference
nano tech 2024
国際ナノテクノロジー総合展・技術会議

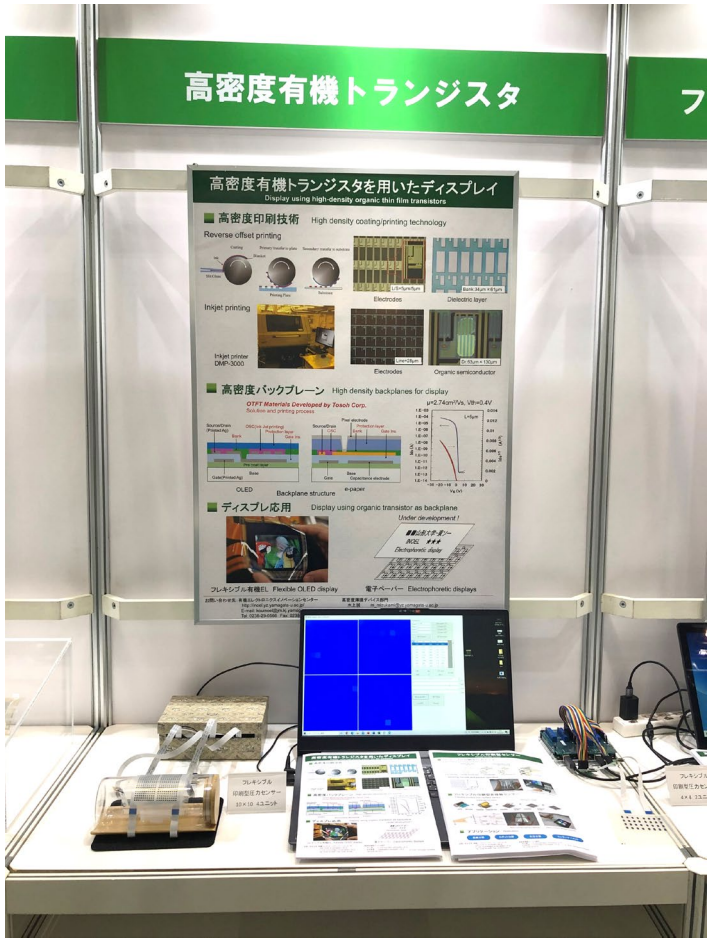
山形
Yamagata
INOEL
有機エレクトロニクスイノベーションセンター
Innovation Center for Organic Electronics
有機エレクトロニクスイノベーションセンター
Innnovation Center for Organic Electronics
4L-23
米沢市の産業団地のご紹介
ものづくりのデザインを革新する
デジタルマニュファクチャリング
インクジェットの基礎から応用まで
インクジェットの応用で
イノベーションを起こそう
高密度有機トランジスタ
フレキシブル印刷型センサー
山形大学

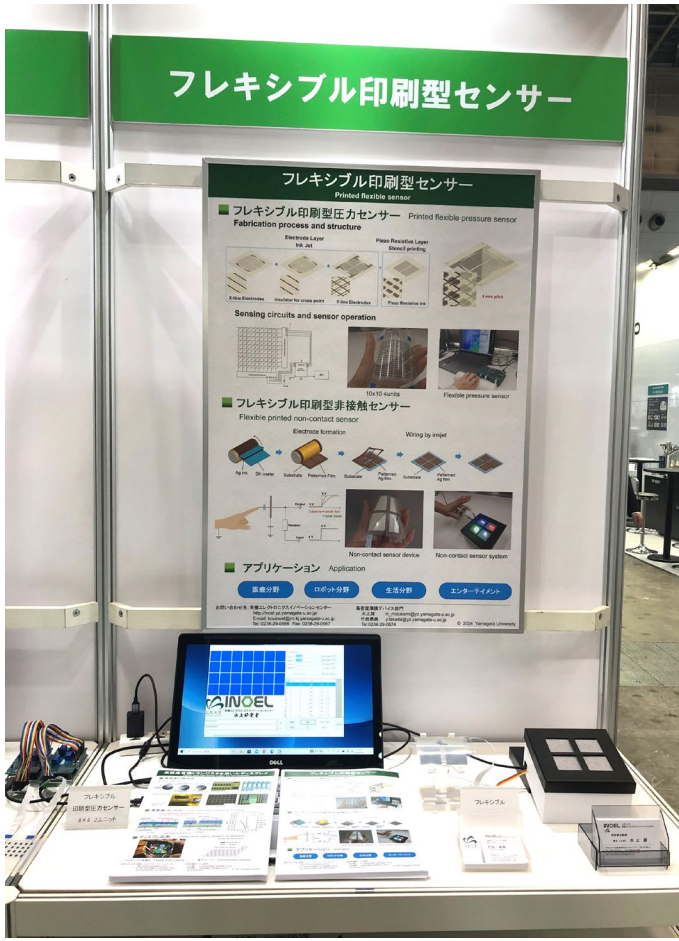
4L-23
ものづくりのデザインを革新する


ペロブスカイト太陽電池
Perovskite Solar Cells (PSCs)
ペロブスカイトトップセル作製基盤技術の開発
有機薄膜太陽電池
Organic Photovoltaic Solar Cells (OPVs)
透明有機太陽電池で「発電する窓」

近赤外有機ELデバイス
Near Infrared Organic Light Emitting Diodes (NIR OLEDs)
小型全有機近赤外発光・分光センサシステムの開発
山形大学
ROEL
INOEL
YBSC
OMAP
FROM

インクジェットの応用で
イノベーションを起こそう
INOEL 有機エレクトロニクスイノベーションセンター
山形大学
高粘度インクジェットへの挑戦
Challenge to high viscosity inkjet head https://inkjet.yz.yamagata-u.ac.jp/
高粘度インクジェットヘッド技術
精密重合を用いた顔料分散剤の開発と
新規水系インクジェットインクへの応用
顔料分散剤
新規水系インクジェットインク
電子ペーパー
Gate
電子ペーパー
Source-D
電子ペーパー
電子ペーパー
画素電極
高密度有機トランジスタ
バックプレーン


高密度有機トランジスタ
高密度有機トランジスタを用いたディスプレイ
Display using high-density organic thin film transistors
高密度印刷技術 High density coating/printing technology
Reverse offset printing
Inkjet printing
高密度バックプレーン High density backplanes for display
ディスプレ応用 Display using organic transistor as backplane
フレキシブル有機EL Flexible OLED display
電子ペーパー Electrophoretic displays


フレキシブル印刷型センサー
フレキシブル印刷型センサー
Printed flexible sensor
フレキシブル印刷型圧力センサー Printed flexible pressure sensor
Fabrication process and structure
Sensing circuits and sensor operation
フレキシブル印刷型非接触センサー
Flexible printed non-contact sensor
アプリケーション Application
医療分野
ロボット分野
生活分野
エンターテイメント

米沢市の産業団地のご紹介
米沢市
山形大学
米沢市の産業団地の御紹介
Industrial Park in Yonezawa
東北有数の工業都市「米沢」で一層の飛躍を!
魅 力
優 遇

ものづくりのデザインを革新する
デジタルマニュファクチャリング
DMN
山形大学
デジタルマニュファクチャリングネットワーク
最先端デジタルマニュファクチャリング技術による変革
3つのデジタルファブリケーション技術の価値・期待
企業が集い、イノベーションを創出する
共創の場としてsandbox環境
山形大学を活用しませんか 大学活動に参加しませんか
INOEL

インクジェットの基礎から応用まで
INOEL 有機エレクトロニクスイノベーションセンター
山形大学
インクジェット開発センター 2018年4月設立
R&D Activities on Inkjet Development Center
日本初のオープンなインクジェット研究開発拠点(IJ-HUB)
研究開発の背景
取り組む技術領域
組織と活動内容
産学連携活動

# 有機エレクトロニクスイノベーションセンター

・有機材料・ナノテクノロジー・印刷技術から、
　サステナブル（持続可能な）エレクトロニクス実現へ

・大学と企業の若手が生き生きと活動、国際化、
　地域貢献、次代を担う場、オープンイノベーションへ

引き続きよろしくお願い申し上げます

配布先：工学部長記者懇談会参加報道機関

# PRESS RELEASE

山形大学 Yamagata University

令和6年（2024年）2月8日

# 「国際宇宙産業展ISIEX」にて球状歯車を展示

## ～金属製の球状歯車を用いたロボットアームの展示～

**【本件のポイント】**

- 直交する３方向に無制限に回転可能な球状歯車を、総合商社の兼松株式会社との共同研究により、金属で製作することにより、高い剛性と耐荷重性を実現した。
- インドからの国費留学生モセス・グラドソン氏の設計による「『アルミ合金』製球状歯車」を肩関節に用いた人型ロボットアームのデモンストレーションを世界で初めて、「2024 国際宇宙産業展ISIEX」の兼松ブースにおいて行う。
- 重量やサイズの制限が厳格である宇宙開発分野での応用が期待される。

**【概要】**

山形大学工学部機械システム工学科の多田隈理一郎研究室で開発された、金属製の球状歯車およびそれを肩関節に用いたロボットアームを、2024 年 2 月 20 日(火)～22 日(木)の 3 日間、東京ビッグサイトで開催される「2024 国際宇宙産業展」における兼松株式会社のブースで展示・デモンストレーション致します。
３つの回転軸を有し、無制限に回転できる球状歯車機構を、アルミ合金で製作することにより、宇宙機器の駆動に適した、小型・軽量のアクチュエータとして活用できる可能性を示します。
今回は、博士後期課程学生モセス・グラドソン君が中心となって、兼松株式会社との共同研究で開発した金属製の球状歯車の機器展示となります。また、「アルミ合金製球状歯車」を肩関節に用いた人型ロボットアームのデモンストレーションも、世界初となります。

**【背景】**

ロボットによる自動化が、少子高齢化の進む社会で必要となっている。

**【研究手法・研究成果】**

人間の生活空間で活動しやすいように、人間の肩関節と同様に、３つの回転軸を直交させた構造を持つ球状歯車をアルミ合金で製作した。

球状歯車により、人間の肩関節よりも広い可動範囲を有する機構を実現し、将来的には、手首関節にも利用可能な小型化も進めている。

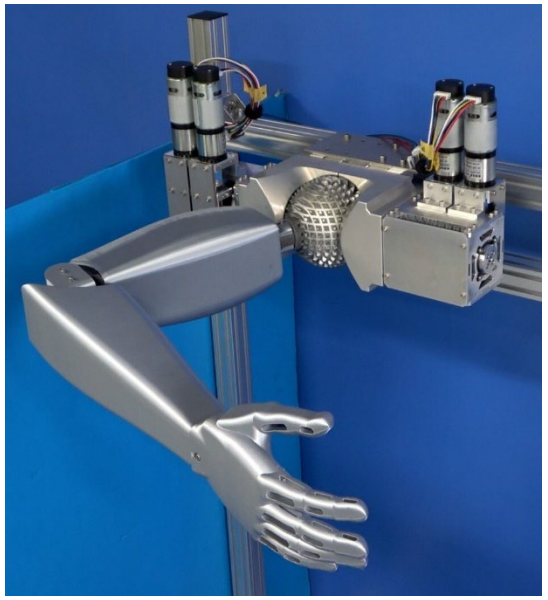
インドからの国費留学生モセス・グラドソン氏（山形大学大学院 理工学研究科 博士後期課程 先進工学専攻１年）が、今回の機構の設計を主に担当した。

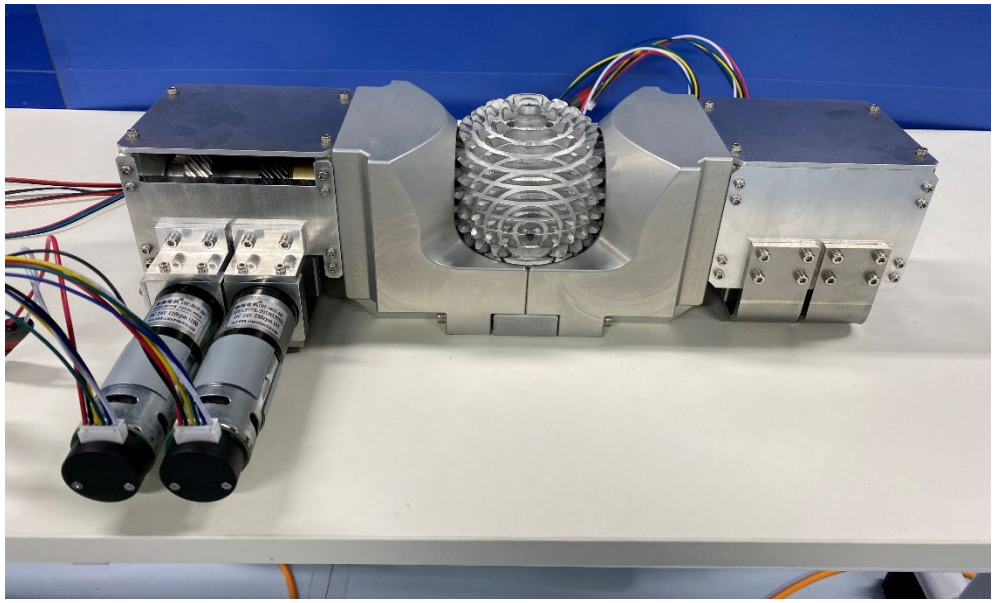
**【今後の展望】**

今後は、重量やサイズの制限が厳格である、人工衛星や探査ロボットなどの、宇宙開発分野での応用が期待される。

お問い合わせ
学術研究院教授　多田隈　理一郎（ロボット工学）
TEL　0238-26-3893　　メール tadakuma@yz.yamagata-u.ac.jp

# 「国際宇宙産業展ISIEX」にて球状歯車を展示します。





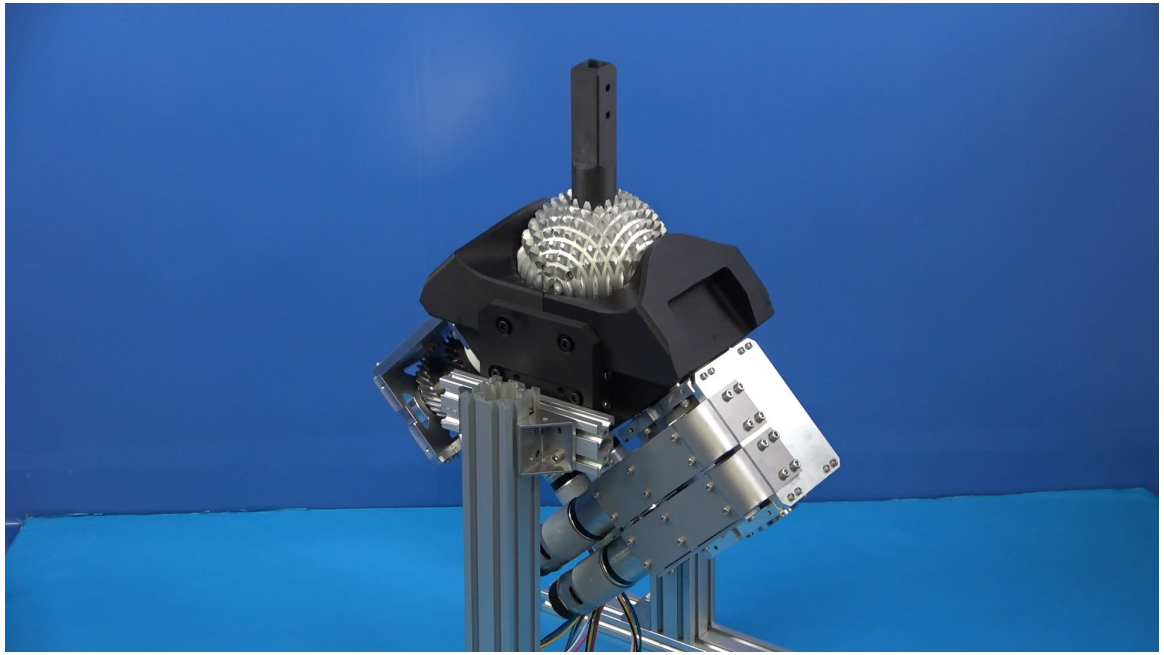
会場:　東京ビッグサイト

開催日時:　2024年2月20日(火)～22日(木)

学術研究院 教授　多田隈　理一郎(ロボット工学)

# 金属製の球状歯車のロボットアーム肩関節としての世界初の展示

- 直交する3方向に無制限に回転可能な球状歯車を、総合商社の兼松株式会社との共同研究により、金属で製作することにより、高い剛性と耐荷重性を実現した。
- インドからの国費留学生モセス・グラドソン氏の設計による「『アルミ合金』製球状歯車」を肩関節に用いた人型ロボットアームのデモンストレーションを世界で初めて、「2024 国際宇宙産業展ISIEX」の兼松ブースにおいて行う。
- 重量やサイズの制限が厳格である宇宙開発分野での応用が期待される。



# 金属製の球状歯車を肩関節に用いたロボットアーム

**【研究手法・研究成果】**

人間の生活空間で活動しやすいように、人間の肩関節と同様に、3つの回転軸を直交させた構造を持つ球状歯車をアルミ合金で製作した。

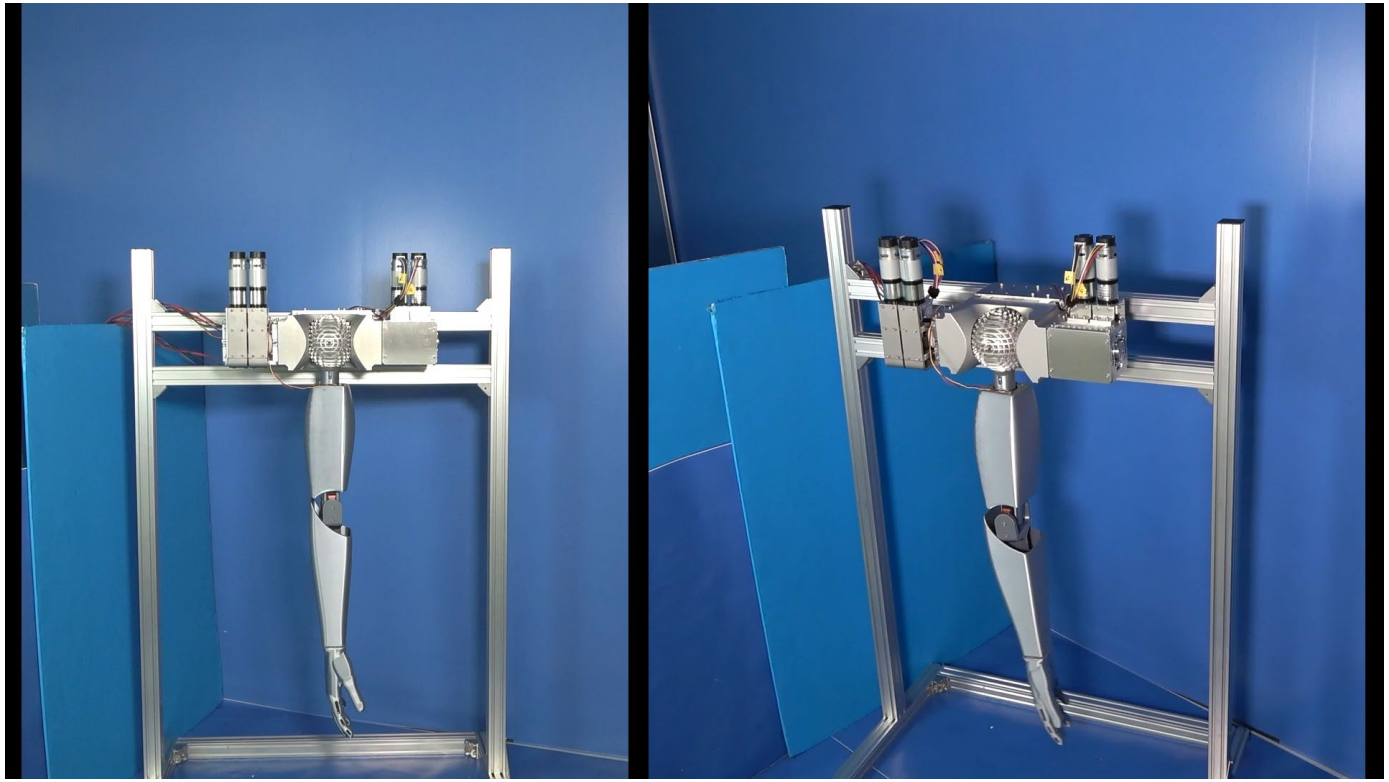
球状歯車により、人間の肩関節よりも広い可動範囲を有する関節機構を実現した。

インドからの国費留学生モセス・グラドソン氏（山形大学大学院 理工学研究科 博士後期課程 先進工学専攻1年）が、今回の機構の設計を主に担当した。

**【今後の展望】**

今後は、重量やサイズの制限が厳格である、人工衛星や探査ロボットなどの、宇宙開発分野での応用が期待される。

作業のみならず、ジェスチャーによる情報伝達も同時に並行して行える、知的作業を人間と高効率で共同して行うことが可能なロボットを実現する。



（5倍速）

配布先：工学部長記者懇談会参加報道機関

# PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和6年（2024年）2月8日

# もの・まちづくりサークル縁
## ～令和５年度の活動について～

**【本件のポイント】**

●空き家を改修することで学生の居場所を創造する。
●展示会を開催することでまちとの繋がりをつくる。

**【概要】**

本年度の活動としては主に２つある。
１つ目は、空き家の改修である。現在、東町ポスト斜め向かいの空き家を学生シェアハウスに改修している。居住者が建物に対して繰り返し DIY を施しながら住むシェアハウスを計画しており、今春から入居が始まる。
２つ目は、展示会の開催である。2 月末に山形市で開催するための準備を進めており、まちの人に製作した模型を見てもらうことや外から招いた教授の講評会を通して、まちとの交流と自分たち自身のレベルアップを図る。また、今年度の「くてん、」（卒業設計展示会）は、2 月 23 日及び 24 日に山形市の Q1 で開催する。2～4 年生の作品を展示し、東北大学の藤野准教授から講演会と講評を行っていただく予定である。

**【背景】**

年々空き家数が増加していくことで、まちの空洞化が進んでいると感じた。また、学生と地域住民の関わりが希薄であると感じ、これらの問題点を建築で解決したいと考えた。

建築・デザイン学科を含む工学部所属の１年生は山形市にある小白川キャンパスで学生生活を過ごす。そのため、山形市にいる１年生と米沢市にいる先輩学生のつながりが弱く、１年生のうちに建築に触れる機会が少ない。少しでも１年生のうちから 2～4 年生との交流機会の増加及び建築物、まちづくり、デザイン等と触れられる機会を増やすため、山形市で卒業設計展示会を企画し、１年生が企画～運営を行う。

**【研究手法・研究成果】**

空き家の使い方について考察し、自分たちの手を動かして解体することで、居住空間や住宅の構造についての理解を深めた。本サークルの活動では、まちの人々が出入りできる空間を兼ね備え、学生と地元住民の交流の場を目指している。米沢というまちを知り直接的に地域住民と関わることで、まちとのつながりを再確認した。

**【今後の展望】**

米沢市内での活動を通して、学生と地域住民の架け橋となれる存在を目指す。

お問い合わせ
山形大学工学部建築・デザイン学科２年　白石匠
TEL　090-2970-8855　　メール t225066@st.yamagata-u.ac.jp

# 学部長記者懇談会

もの・まちづくりサークル縁
山形大学　工学部　建築・デザイン学科2年
白石　匠

# もの・まちづくりサークル縁について

**名前の「縁」に込めた思い**

えん(巡り合わせや関わり合い)

ゆかり(なんらかの繋がり)

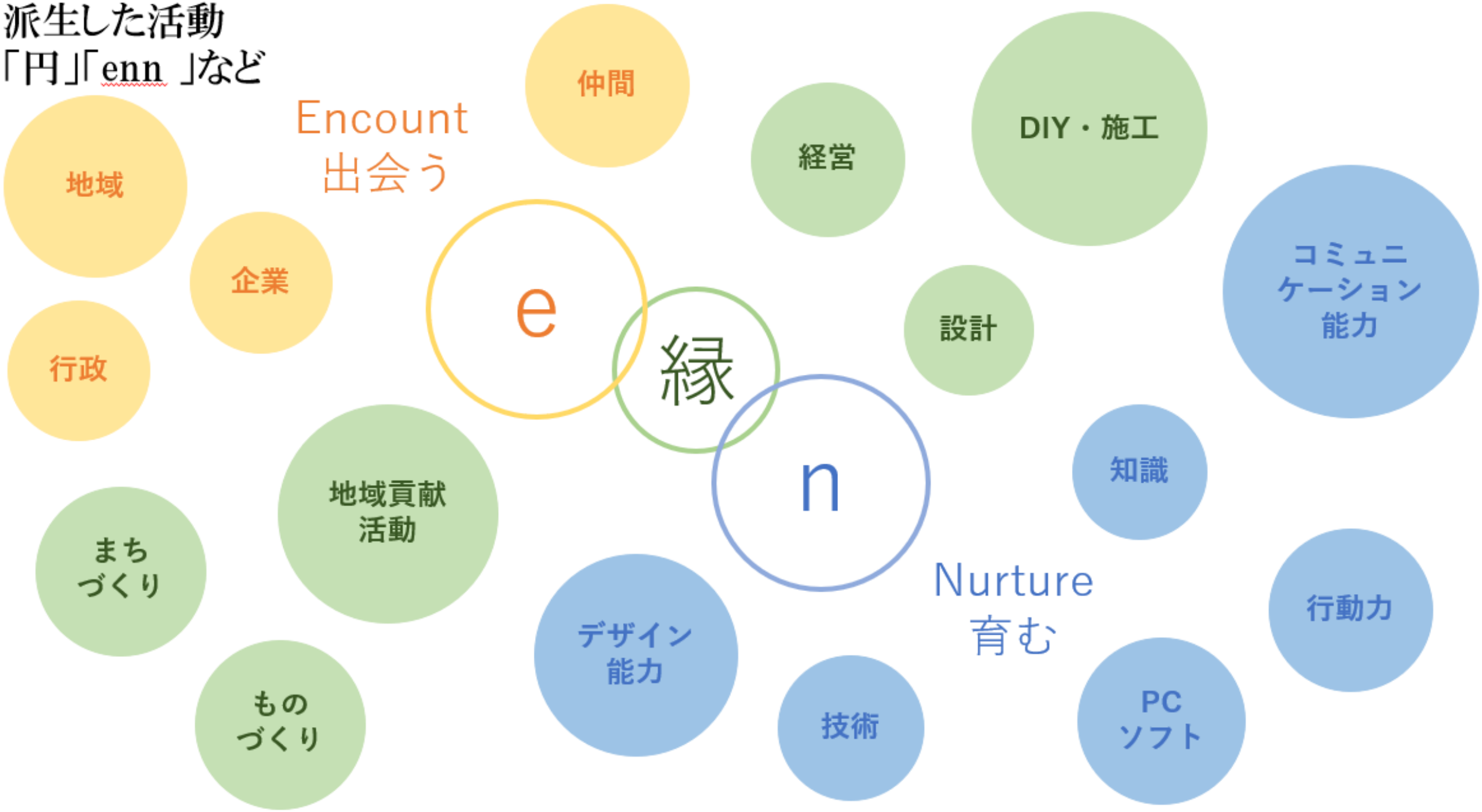
よすが(身やこころの拠り所)

えにし(運命的なつながり)

**名前の「縁」に込めた思い**

サークルへの参加目的も
活動の方法も様々でいい。
「縁」という一つの言葉が
根幹でつながっている。
バラバラの視点を持つ人を受け入れ
新しい山形大学を作る。

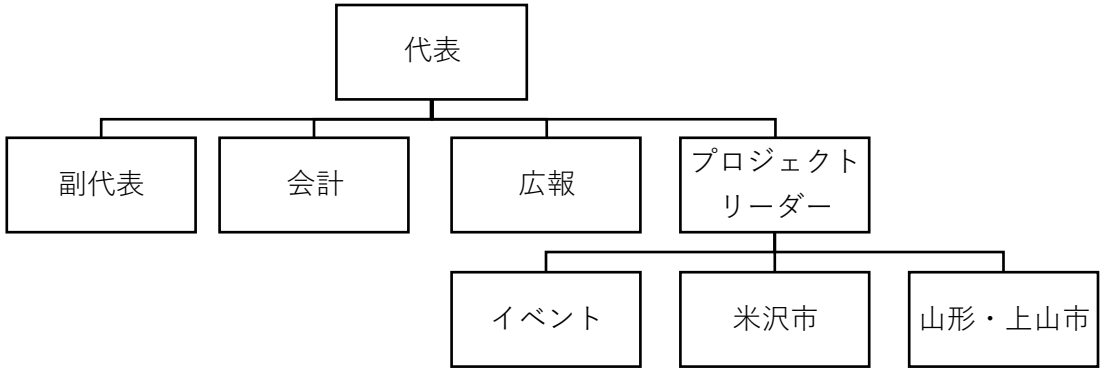
派生した活動
「円」「enn 」など



# サークル組織について

構成：建築・デザイン学科有志79人
（Ｂ１～Ｂ４）

主な活動場所ごとにプロジェクトリーダー（PL）をおき、PLを中心に活動。
様々な活動ごとに参加者を募り、メンバーの自主性に委ねた、自由なサークル。



# 現在進行中の主な活動

# ①東町プラットフォームへの参加

# 東町プラットフォームとは？

町内会、まちづくり会社、大学、金融機関、行政、観光地域づくり法人等で組織され、それぞれの立場や年齢を越えて地域の理想の将来像を考え話し合い実践していくことで、地域をマネジメント（維持・管理・運営）していくための場。

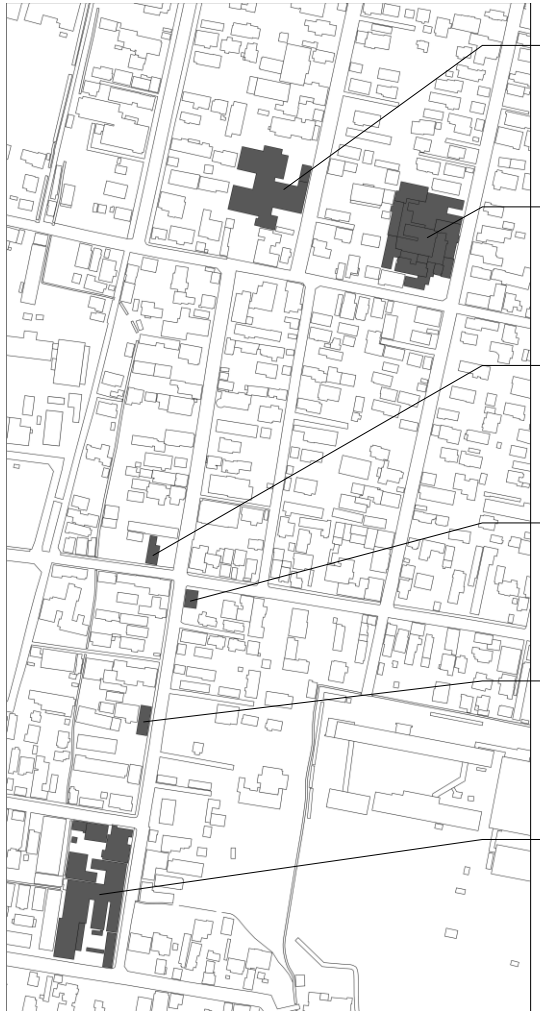
さらに、建築を通じたまちづくりを目指し、建築家、美術家がサポーターとして参加。

学生メンバーとして会議に参加。まちと学生をつなぐ役割を担い、コミュニティづくりのきっかけとなれる存在を目指す。

# 東町とは

上杉神社から徒歩15分に位置し、米沢市内の他のエリアに見られるようなロードサイド化による開発が進んでいない。

現在も酒蔵、味噌蔵、機屋の100年企業や神社や寺などが建ち並び、“米沢らしい”風情が残っている。



酒造資料館　東光の酒蔵

花角味噌醸造
創業150年を超える老舗味噌醸造元
（ カクリキ味噌）

対象となる空き家
今回の対象敷地となる空き家。元々は1世帯が住む住宅として利用されていたが、今回からシェアハウスに生まれ変わる。

東町ポスト
空き家となっていた旧東町郵便局をリノベーションした。本を通じたコミュニケーションの場を目指している。

マチスタヂオ
まちづくりの拠点施設として新しい形のシェアオフィス。空き家となっていた納豆工場をリノベーションした。

小嶋総本店
城下町米沢において約400年にわたって酒造りを続けてきた老舗の酒蔵（東光）

# 東町未来ビジョン

月１回程度の東町プラットフォームでの議論や、国際的な建築家を招いた「米沢市まちづくりシンポジウム」などの活動を通じて、まちをどのように捉え考え、どのようなまちづくりをするか、地域の目指す姿を地域、民間、行政等の間で共有し、進むべき方向性を示したもの。

https://www.city.yonezawa.yamagata.jp/secure/14876/higashimachi_future-vision-cleaned.pdf

# マチスタ

東町を中心とした米沢のまちづくりの新たな拠点としてシェアオフィス「マチスタヂオ」。

国内外で活躍している若手建築家の増田信吾＋大坪克亘建築設計事務所が設計し、これからの米沢に求められる新たな歴史や文化を、「ゼロからイチを創り出す」場の創造を目指す。

１階は近隣の子どもたちや地域住民、大学生など様々な人たちが集い、語らうスペース。

https://www.machi-studio.com/

# ②空き家改修（シェアハウス）

# 空き家改修（シェアハウス案）

東町ポスト斜向かいの空き家を改修し、シェアハウス化の提案。
建築を通して“米沢らしさ”を感じ、このまちにどう開いていくのか模索。

# 経緯

・米沢市では空き家による「まちの空洞化」が深刻な状況。

・市内に３つの大学があるが、学生とまちの関わりが少ない。

・人（大学生）が集まる場所がない。

⇩

学生シェアハウス＋まちの人々が集える空間

・定期的な学生の流入が見込める。

・まちの人々が出入りできる空間を兼ね備え、学生と地元住民の交流の場へ。

# 空き家改修（シェアハウス案）

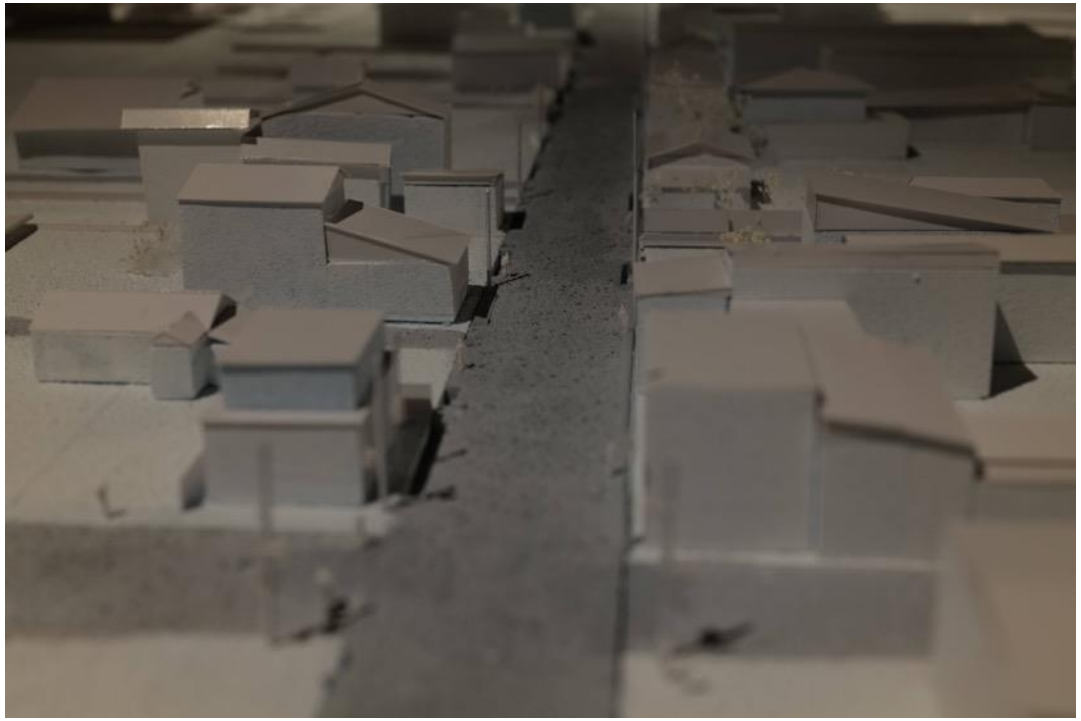
空き家

⇩

機能のない贅沢な建築

空き家とは何なのか、ラディカルに説明できる自分なりの解答を考える。

# 増田大坪建築セミナー



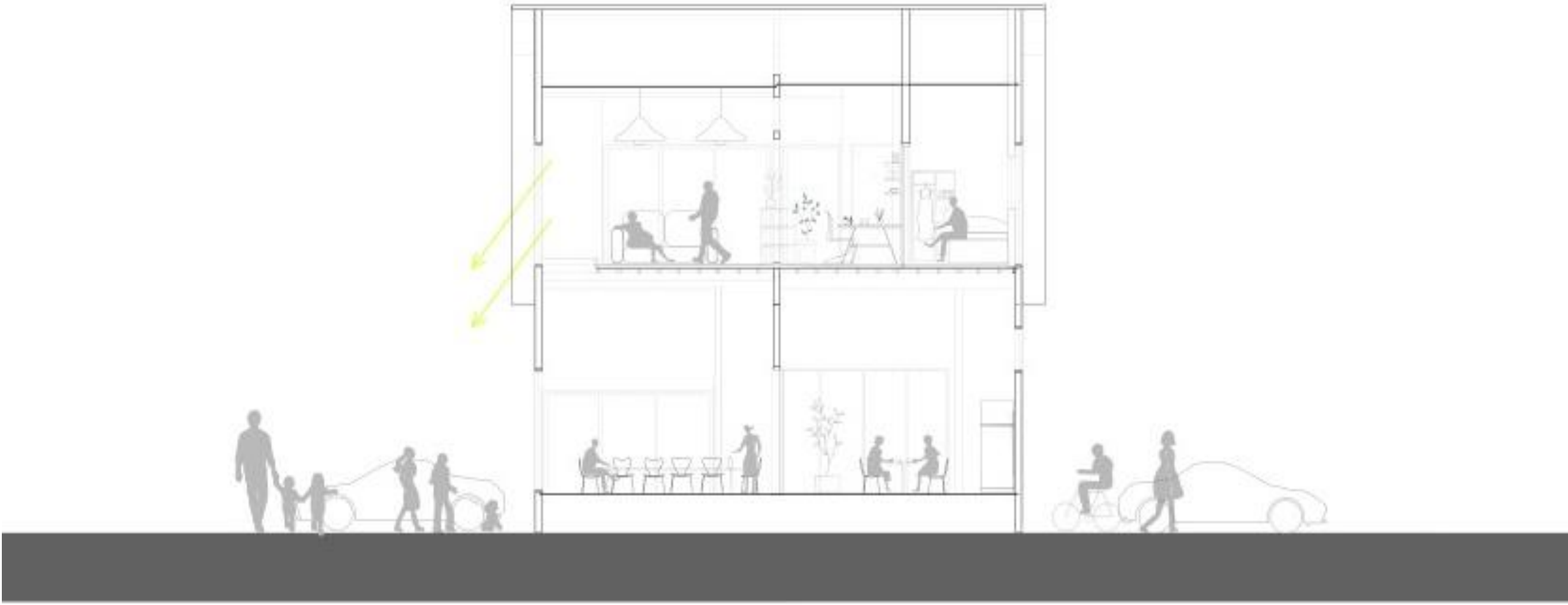
建築家の増田信吾氏、美術家の石山和広氏をお呼びし、建築的な操作によるリノベーションを考え、実践するためのレクチャー。

# ハーフビルドシェアハウス

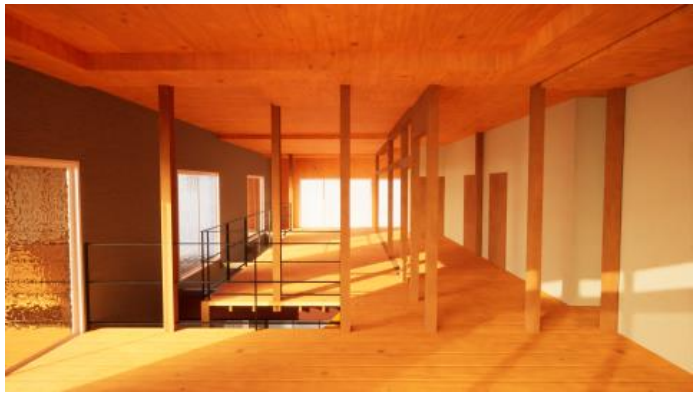
居住者が建物に対して繰り返しDIYを施しながら
住むシェアハウス。

学生が住みながらつくり替え、変化していくこと
で、まちに活気を与えるのではないか。

来年度４月から山形大学２年生２人が住む予定で、
最大４人まで住める。

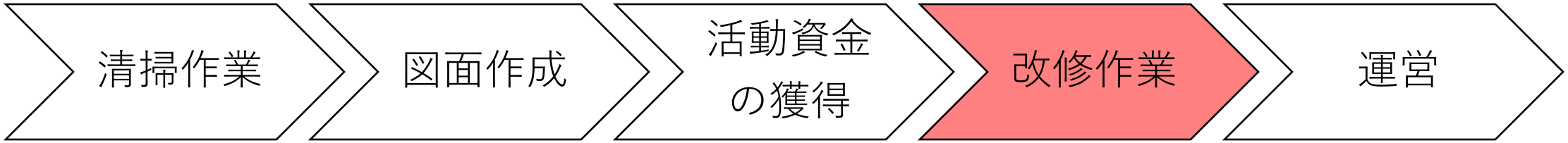


# 完成後イメージCG画像



１階をまちにひらいた作業スペース、２階を居住スペースとする。
１階は既存の間取りを生かしつつ、動線を変えることでまちとのつながり方を改める。
２階は南北方向の壁を撤去し大空間が生まれ、大きな共用部とする。各居室は最小限に抑え、住人は基本的に共用部で過ごす。

# 現在地と今後の流れ




2022年10月、プロジェクトがスタート。
既存の建物の平面図、断面図、立面図などを作成し、どんな建築なのか徹底的に議論や分析をしながら、リノベーションの設計案を模索した。
昨年の夏に資金獲得のためのクラウドファンディングを行い、多くの方々のご支援もあり目標金額の80万円を達成できた。
完成は３月で現在は解体作業をしつつ、地元建設会社と協力しながら施工している。

# 米沢での活動

「若者（大学生）の居場所の創出」がテーマ。

山形大学に程近い東町エリアで、大学生の“無目的な”居場所をつくること、そしてそこで大学生がまちに還元できるためにはどうすればいいのか、模索・検討しながら活動中。

③くてん、(建築設計展)

# くてん、（卒業設計展示会）

山形市内のＱ１、細谷ビルにて卒業設計ならびに
2～４年生の設計課題作品の展示会。

昨年度は１年生によって企画～運営が行われた。

# くてん、の持つ役割

山形市で行うことで1年生が建築に触れるいい機会になる。

まちの人に建築・デザイン学科を認知してもらう。

# 今年度のくてん、

2月23,24日にQ1にて開催

2~4年生の模型を展示する。

東北大学の藤野准教授をお呼びし、模型の講評と講演会を行っていただく。

# サークルとしての活動目標

『サークルメンバーひとりひとりが主体的に活動でき、自分が“好きなこと”を見つける』

こと。米沢市や上山市、定期的な活動を通じて建築やまちづくりに興味を持ち、自分がやりたいことを実践し、交流の場を広げられるようなサークルを目指している。

また、“建築”という視点を通じて、**“街を愛する人”**になりたい。自分が今住んでいる街、生まれ育った街、思い入れのある街、、、。どんな街にも魅力的なポイントがあり、それを発見し、発信する能力を養える機会をこのサークルでつくりたい。

# 令和5年度
# 山形大学学位記授与式（米沢地区）

## 日時：令和6年3月20日（水）午前11時00分開式
## 場所：米沢市営体育館（米沢市金池3－1－62）

概要

**●父母等用駐車場**

米沢市役所駐車場
米沢市営体育館東側駐車場
JA山形おきたま米沢支店駐車場

**●学生用駐車場（米沢キャンパス）**

南駐車場
林泉寺駐車場
※駐車場の詳細は工学部ホームページで確認してください。
※工学部からのシャトルバスを利用願います。
**※父母等駐車場には止めないでください。**

**●シャトルバス**

当日は工学部（正門周辺）と米沢市営体育館（駐車場）の間でシャトルバスの運行を実施します。

工学部→米沢市営体育館 9:30～10:30（乗客がなくなり次第終了）
米沢市営体育館→工学部 式典終了後～13:00（乗客がなくなり次第終了）

**●その他・留意事項**

・式典終了後の学部全体での謝恩会はございません。
・当日、体調不良（発熱、咳、鼻水、のどの痛み等）がみられる場合は、参加を見送ってください。
・会場での飲食（飲み物も含む）を禁止とします。
・会場内では、係員の指示に従ってください。

**詳細は工学部ホームページで確認してください。**
（https://www.yz.yamagata-u.ac.jp/）

# 山形大学純米大吟醸

# 燦樹

KIRAMEKI

2024

山形大学
農学部
附属農場産酒米
出羽燦々
使用

2023年
12月14日(木)
販売開始

生酒

火入れ酒

にごり

鶴岡市
奥羽自慢
醸造

2,200本
限定販売
720ml
¥2,050
(税込)

華やかな香りとフルーティで爽やかな甘みのお酒です。加工処理をしていない
香り高い生酒と味に落ち着きがある火入れ酒の違いをお楽しみください。
にごり酒はうっすら濁りのあるお酒で生酒とも味わいが異なる一品です。

～売上額の10%が「山形大学基金」に寄付され学生支援に活用されます～

## ご購入・お問合せ

【店舗購入】 山形大学生協小白川コンビニ店・各購買書籍店

【WEB購入】山形大学生協ホームページ「ショッピング」

※20歳未満の方への販売はできません

※WEB購入は本数により送料をいただきます

WEBサイトはこちら